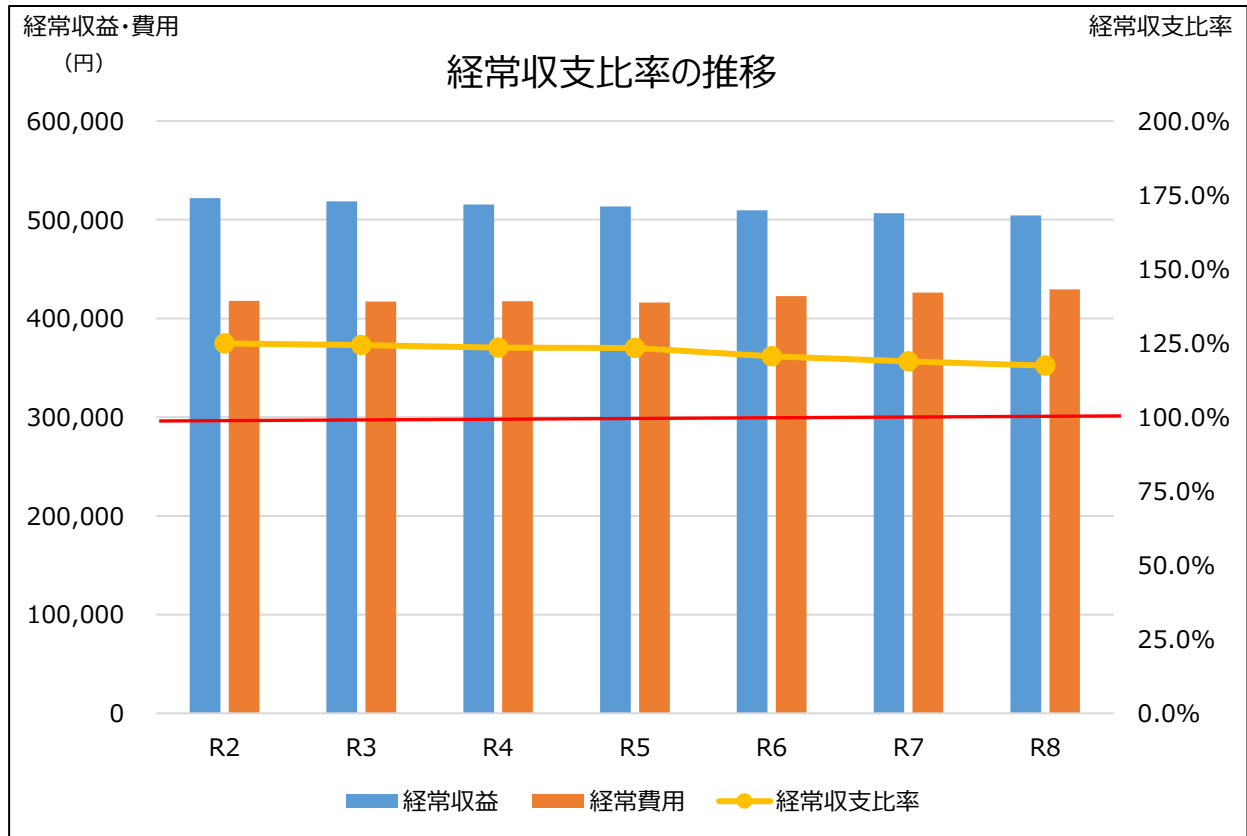


今後の推移予測について

【経常収支比率】

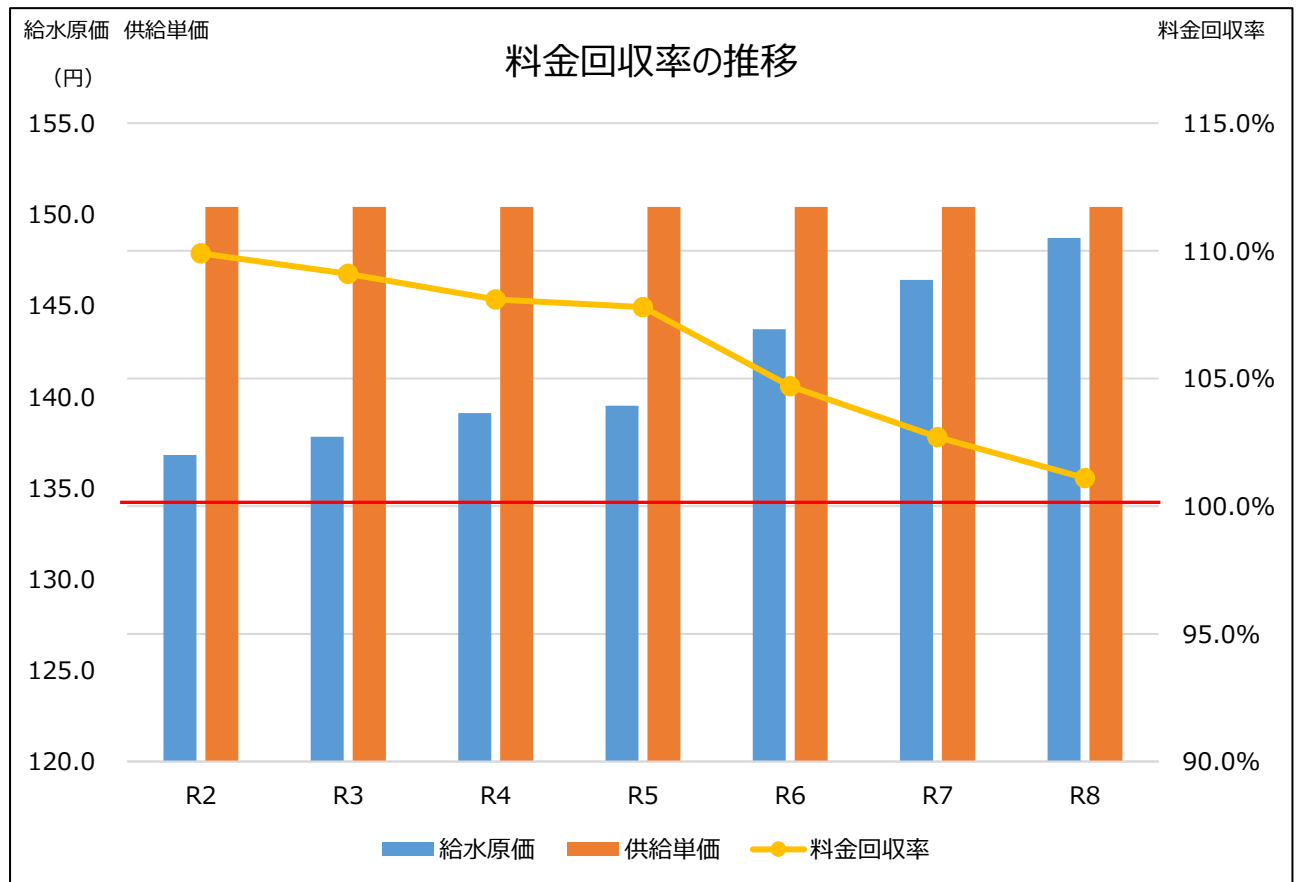


$$\text{経常収支比率} = \text{経常収益} \div \text{経常費用} \times 100$$

企業の経常的な活動の収益性を表す経常収支比率は、有収水量の減少に伴う給水収益の減少や、老朽化した水道施設の建設改良や修繕に伴う費用の増加から緩やかに減少していきますが、経営自体は比較的良好に推移していくことが予想されます。

しかし、今後も人口が減少していき、これ以上の収入の増加が見込めないことから、経営状況が悪化していく恐れがあります。

【料金回収率】



料金回収率 = 供給単価 ÷ 給水原価

料金回収率も、有収水量の減少という同様の理由により、給水原価が高額となっていきます。とりわけ、令和5年度から三日町配水池の浄水設備の建設が始まることから、料金回収率が著しく降下していきます。計画的な施設更新を進めながら、中長期的に安全で安定的な水道水の供給をしていくためには、料金水準のあり方も視野に含めて検討を行っていく必要があります。